学校番号	T3017

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂版　日本史Ａ　（第一学習社）						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 歴史という時間軸を感じる。
- 歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- 歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

わが国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見いだし，我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を，世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ノート プリント 出席状況	ノート プリント 定期考査	ノート プリント 定期考査	ノート プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4.5月	第1章　近代国家の形成と国際関係の推移	第１節　近代への胎動 ①せまってくる外国船 ②ちからを蓄える庶民 ③近代思想のいぶき ④揺らぐ幕藩体制	 ○ ○	 ○ 	 ○ ○	 ○ ○ 	a:幕末に至るまでの日本のあゆみと関連づけて，近現代学習に入ろうとする態度を身につけている。 b:江戸時代後期の政治・社会・経済・文化が，このあとの時代の前段階であることを理解し，考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d:江戸時代後期の日本の状況を，世界情勢と関連づけて，正しく把握している。	ノート プリント 出席 春期考査
6.7月	第2章　両大戦をめぐる国際情勢	第２節　明治維新 ①黒船がやってきた ②志士たちの時代 ③手を結ぶ薩長 ④近代との出会い ⑤江戸幕府が終わり新政府へ	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:幕末から明治に至る動きを，一連の流れとしてとらえようとしている。 b:江戸時代後期の日本の状況を，幕府の衰退という視点でとらえ，考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d:開国に至る経緯を，幕府の対応と関連づけて理解している。	ノート プリント 出席 夏期考査
9.10月		第３節　近代国家の確立 ①江戸が東京になった ②天皇の軍隊がつくられた ③スローガンは「富国強兵」 ④欧米文化がはいってきた ⑤日本の国境が定まった ⑥爆発する農民や士族の不満 ⑦国会開設が決まった ⑧地主制が進行した ⑨立憲政治がはじまった ⑩国会がはじめて開かれた	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:明治初期の諸政策のなかに，現在との関連性を探し出そうとしている。 b:明治政府による初期の諸政策の目的を，前時代との違いや問題点を含め，幅広い視点から考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d:明治政府の初期の諸政策について，その目的と問題点を理解している。	ノート プリント 出席 秋期考査

		第４節　国際関係の推移と近代産業の発展					a:戦争期の政治の動きについて，当時の社会や人々の動きに注目して，理解しようとしている。 b:条約改正の過程で，日本側の要求と，これに応じる欧米の対応を，当時の国際情勢をふまえて考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d:条約改正の目的とその経緯・結果について，時系列に把握している。	
		①欧米と肩を並べる国をめざして		○	○			
		②清国との対立が深まった	○			○		
		③藩閥と政党が接近した						
		④ロシアとの戦争がおこった			○			
		⑤アジアへの勢力拡大がはじまる	○	○				
		⑥国民の生活が圧迫された		○	○			
		⑦綿糸と生糸が支えた産業革命	○			○		
		⑧欧米の資本主義に仲間入りした				○		
		⑨貧富の差が広がった	○		○			
		⑩国家主義が台頭する		○		○		
		⑪教育が進展した			○			
		⑫明治の文化が花開いた	○			○		
11，12月		第１節　第一次世界大戦と日本					a:大正期の経済や社会状況において，第一次世界大戦との因果関係について理解しようとしている。 b:日本がアジア諸国に対しておこなった政策の理解においては，その後のアジア諸国の動向と関連させて考察している。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d:第一次世界大戦が日本に与えた影響について正しく理解している。	ノート プリント 出席 冬期考査
		①民衆が政治を動かしはじめた	○	○				
		②最初の世界大戦に日本も参戦した	○		○			
		③成金の時代がやってきた		○		○		
		④朝鮮・中国の民衆が立ち上がった	○			○		
		⑤日本は欧米に歩調をあわせた	○	○				
		⑥「平民宰相」が登場した						
		⑦抑圧からの解放をもとめて		○	○			
		⑧新しい文化とモダンな都市が生まれた		○		○		
		⑨学問と芸術に新風が吹く	○		○			

		第２節　第二次世界大戦と日本 ①恐慌の嵐が吹きあれる ②日本の外交が行きづまる ③軍部の暴走がはじまった ④中国との長い戦いがはじまった ⑤戦争の影が文化におよぶ ⑥すべてが戦争に協力させられた ⑦アメリカとの戦争がはじまった ⑧戦争が拡大する ⑨アジア・太平洋の諸民族にかかわった ⑩生活も戦争に染まった ⑪戦争が終わった	 ○ ○

1. 2月		第２節　独立後の政治と経済の発展 ①平和への願いが叫ばれた ②保守と革新の正面衝突 ③奇跡の経済成長がはじまった ④奇跡の経済成長の影 ⑤あらたな戦争にまきこまれた ⑥豊かさと中流意識	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	a:主権回復後の日本の動きについて，意欲的に理解を深めようとしている。 b:高度経済成長の内容について，その要因を政治・経済の面から考察している。また，さまざまな諸問題についても理解を深めている。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d:主権回復後におこった国内の動きについて，その内容と政治的背景を，正しく把握している。	ノート プリント 出席 学年末考査
		第３節　現代の日本と世界 ①２つのショック ②経済大国が誕生した ③消費はファッションになった ④バブルはこうしてふくらんだ ⑤大きな歴史の転換をむかえた ⑥政局と経済が混迷する ⑦これからの日本について考えよう ⑧時代の転換点に立って	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	a:国際社会において，日本のはたすべき役割について，関心を深めている。 b:現代社会がかかえる社会問題について，戦後から現在までの国民生活の変化のなかに，その起因となる部分をみつけている。 c:教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d:現在の日本がかかえる諸問題について理解し，そのために何が必要なのか，自分自身の考えをもっている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。